



報道関係各位

2026年8月24日

「モノづくり体感スタジアム 2026」に出展 ～キーホルダー作りで超硬合金製工具・金型の製造工程を紹介、 ものづくりの面白さを子どもたちに伝える～

超硬合金製耐摩耗工具・金型製造の国内トップシェア、富士ダイス株式会社は、科学技術館 展示・イベントホールで開催された体験型イベント「モノづくり体感スタジアム 2026」(主催：モノづくり日本会議、日刊工業新聞社)に出展し、8月8日(土)に子ども向けのワークショップを実施しました。当社は今回で3回目の参加となります。

ワークショップのタイトルは昨年に引き続き「命を吹き込め！キーホルダー作りで金型体験！」です。子どもたちは、金型を使ってレーザーの型抜きをしたあと、ステンレス製のプレートを磨き、2つを組み合わせることでキーホルダーを製作しました。



【完成したキーホルダー】



【プレートの磨き作業】

▲キーホルダー作りを通じて、金型の使い方および製造工程の一部を体験

ワークショップでは、まず超硬合金の特長や製造工程についてスタッフが紹介し、その後、製造工程の中で「摩耗に強くするために金属をピカピカに磨く作業」と「仕上げとなる製品への刻印作業」などを体験する旨の説明を受けて、作業をスタートしました。



【保護者の方やスタッフと型抜き・刻印をする子どもたち】



子どもたちは、まず好きな型を使ってレザーの型抜きを行い、その後ステンレスのプレートを一ピカピカになっているか確認しながら一生懸命に磨きました。そして、ピカピカになったプレートに好きなアルファベット文字を保護者の方と一緒に刻印して、チェーンを通し、キーホルダーを完成させていました。

参加した子どもたちに「どの作業が一番楽しかったか」と問いかけると、「磨くのが楽しかった」や「刻印の作業をもっとやりたかった」など各工程に対して「楽しかった」という声が上がりました。また、保護者の方からは当社の事業内容や製造工程に関するご質問をいただくなど、深く関心を寄せていただきました。



【当社ブースの様子】

富士ダイスは、今後も 11 月 28 日（土）に開催される「おおたオープンファクトリー 2026」に参加するなど、未来を担う子どもたちに向けて「ものづくりの楽しさ」やその先にある「感動体験」を伝える活動を続けてまいります。

▲「モノづくり体感スタジアム 2026」について

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する、子ども向けの体験型イベントです。体験型のワークショップを通じて次世代を担う子どもたちにモノづくりや理科、科学への興味・関心を喚起するとともに、創造力やコミュニケーション能力、課題解決能力を養うことを目的としています。モノづくり日本会議の会員企業が有する子ども向けのコンテンツを一堂に会する「モノづくり体感スタジアム」は 2009 年から実施されています。

詳細はホームページ（<https://mono-stu.jp/>）をご覧ください。

▲富士ダイス株式会社について

当社は、創業 77 年、超硬合金製耐摩耗工具・金型メーカーです。素材開発力・精密加工技術に強みを持ち、国内のみならず海外 2 か国に生産拠点を展開し、国内トップシェアを誇っています。販売は直販体制を取り、お客様の個別のニーズに応じて、原料粉末の調製から焼結・機械加工・製品検査まで一貫生産体制で、幅広い業種のお客様とお取引させていただいています。詳細はこちら（<https://www.fujidie.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からのお問い合わせ先】

富士ダイス株式会社 企画部

TEL : 03-3759-7183

E-Mail : prior.common@fujidie.co.jp